

鹿屋看護専門学校生と市長との「“本気”で語ろう会」会議録

日時	平成31年1月28日（月）14:40～16:10まで
場所	鹿屋看護専門学校講堂
参加者	鹿屋看護専門学校 1年生（14名／市内出身者6名、市外出身者8名）
	市長、学校教育課長、副校長ほか3名

意見交換

テーマ：鹿屋看護専門学校に学んで

- ・鹿屋看護専門学校を選んだ理由
- ・鹿屋看護専門学校で学んでみて思うこと
- ・鹿屋市に住んでみて思うこと

【看護学生】

- ・鹿屋看護専門学校を選んだ理由としては、
 - ・担任の勧め
 - ・学費が安い。
 - ・両親の勧め
 - ・自宅から通えるところ（県外よりも県内）
 - ・国家試験の合格率が100%近くあること。
- ・鹿屋看護専門学校で学んでみて思うことは、
 - ・授業だけでなく演習も多くて良い。勉強についていけるか心配
 - ・先生方のきめ細やかさ、勉強は大変だけど先生方の教えで大丈夫と思う。実習、演習時に先生方が身近にいるので、心強い。
 - ・カリキュラムが充実している。学べる環境である。
 - ・思ったより、男子がいた。
 - ・施設が男子学生を受入れる体制になっていない。（男子更衣室が狭い。演習時、肩身が狭い。）
- ・鹿屋市に住んでみて思うことは／（市外出身者）
 - ・今まで、高速道路がなかったのが遠かったが、今は近くなった。
 - ・車を持っていないため買い物に不自由している。住居の近くに店がない。
 - ・元々、住んでいたところが田舎だったので、変化はない。
 - ・買い物、食事の選択肢が少ない。
 - ・店が少ない。車を持っているから行動範囲が広い。
- ・看護師資格をとった後は、
 - ・鹿屋市内の病院に勤める。
 - ・進学したい。（一度は、市外に出てみたい。）
 - ・少しでも最先端の医療に携わりたい。社会経験はあるが、もっと社会経験をつみたい。
 - ・出身地に帰る。

- ・ 鹿屋看護専門学校の施設整備については、
 - ・ 洋式トイレが1階、2階にそれぞれ1つしかないので、増やして欲しい。
 - ・ 教室で使用する授業用マイクの声が割れて聞きづらい。
 - ・ 暖房をつけて欲しい。
 - ・ 冷房が効きすぎる。

- ・ 高校時代に良く遊んでいたところは、
 - ・ ショッピングセンター
 - ・ 鹿児島中央駅
 - ・ ファミリーレストランなど

- ・ 高校生が地元に残るには、
 - ・ 働く場所があること。

- ・ 鹿屋市の良いところ、改善してほしいところは、
 - ・ 看護だけでなく、保育士、介護など他の職種の学校があれば良いと思う。
 - ・ 公園は多い、児童センターみたいなところが沢山あれば良いと思う。
 - ・ バイパス方面に大型施設が増えて良いと思う。
 - ・ 空き地が目立つ。土地活用をして欲しい。
 - ・ 交通の便が悪い。
 - ・ 臭いがする。
 - ・ 道路、通学路の状況が昔のまま改善されていない。

【市長】

- ・ 本日の語ろう会を通して、皆さんが色々な覚悟、思いを持って鹿屋看護専門学校で学ばれていることが分かった。志を1つにする仲間がいる学校だと感じた。また、話をする中で、先生方に対する良い評価が多いと感じた。
- ・ 今後、皆さんの心を1つにして当初の目的を達成していただきたい。
- ・ 将来、大隅地域の分娩を取り扱う医療機関で助産師の業務に従事しようとする方に対しての奨学金もある。条件はあるが、このような制度も活用して欲しい。
- ・ 学校施設に関する要望等については、今後、検討し実施できることから行っていきたい。
- ・ 交通の便の問題については、デマンドタクシーの実証実験等をしているが、なかなか利用が進まないという課題もある。今後、民間と連携し、民間が行っている隙間を行政が埋めていくという考えも必要である。
- ・ 臭いについては、監視、モニタリングをしながら改善を目指している。